

IBM WebSphere Commerce



マーケティング: オンライン・ヘルプ・ファイル

Version 5.4

IBM WebSphere Commerce



マーケティング: オンライン・ヘルプ・ファイル

Version 5.4

ご注意

本書の情報およびそれによってサポートされる製品をご使用になる前に、37 ページの『特記事項』に記載されている一般情報をお読みください。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

原 典： IBM WebSphere Commerce
Marketing: Online Help Files
Version 5.4

発 行： 日本アイ・ピー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第3刷 2002.6

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 1996, 2002. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2002

目次

第 1 章 WebSphere Commerce アクセ

ラレーター 5

WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザー・
インターフェース 9

WebSphere Commerce アクセラレーターのオープン 11

WebSphere Commerce アクセラレーター・ユーザー
のパスワードの変更 13

顧客プロフィール 14

顧客プロフィール要約の表示 14

新規顧客プロフィールの作成 15

顧客プロフィールの変更 15

顧客プロフィールの複製 15

顧客プロフィールの削除 16

キャンペーン 16

新規キャンペーンの作成 16

キャンペーンの変更 17

キャンペーンの削除 17

キャンペーン・イニシアチブ 18

キャンペーン・イニシアチブの表示 18

キャンペーンの新規イニシアチブの作成 19

キャンペーン・イニシアチブの変更 19

キャンペーン・イニシアチブの統計の表示 19

キャンペーン・イニシアチブの削除 20

e-マーケティング・スポット 20

e-マーケティング・スポットの変更 21

e-マーケティング・スポットの作成 21

e-マーケティング・スポットの削除 21

e-マーケティング・スポットのキャンペーン・イ
ニシアチブのスケジュールリング 22

広告コピー 22

広告コピーのプレビュー 22

新規広告コピーの作成 23

定義済み広告コピーの変更 23

広告コピーの削除 23

クーポン販売促進 24

新規クーポン販売促進の作成 24

クーポン販売促進の支援材料の登録 25

クーポン販売促進のリストの表示 25

クーポン販売促進の配布 25

クーポン販売促進の削除 25

クーポン・ウォレット 26

割引 26

新規割引の作成 26

割引の要約の表示 27

割引のアクティブ化 27

割引の非アクティブ化 27

割引の削除 28

第 2 章 レポート 29

販売促進イベント・モニター 29

販売促進イベント統計カウンター 30

マーケティング・イベントの統計カウンターの構
成 31

統計カウンターの表示ソースの構成 32

WebSphere Commerce Analyzer レポート 32

WebSphere Commerce Analyzer レポートの使用可
能化 33

WebSphere Commerce Analyzer レポートの表示 33

アカウント管理レポートと契約管理レポート
(Business Edition) 34



アカウント管理レポートと契約管理レポートの表
示 (Business Edition) 34

付録. Learning Guides 35


マーケティング・マネージャーの学習ガイド 35

特記事項 38


第 1 章 WebSphere Commerce アクセラレーター


B2C ストアおよび B2B ストアの両方で WebSphere Commerce アクセラレーターを使ってさまざまなストア操作を実行することで、オンライン・ストアを保守することができます。ログオンして使用するストアを選択すると、システムは、選択したストアが B2C であるか、または B2B であるかを検出します。選択したストアのタイプによって、B2C または B2B 操作に固有のメニューが表示されます。オンライン・ヘルプを参照するとき、作業するストアのタイプと一致した説明を使用してください。B2C ストアに関連した情報は  アイコンによって示され、B2B ストアの情報は  アイコンによって示されます。

複数のストアを処理する権限がある場合に WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンしたときは、処理したいストアと言語を選択します。1 つのストアを処理する権限がある場合、ストア名はログオン中に事前に選択されており、ストアが複数の言語をサポートしている場合は、処理したい言語を選択します。さらに、実行を担当するロールを割り当てられている場合は、ログオン時に該当ストアに関連した配送センターを選ぶこともできます。ストア、言語、または配送センターの選

択内容を変更する場合には、左上隅にある  アイコンをクリックすれば、いつでも選択ダイアログを表示できます。WebSphere Commerce アクセラレーターのホーム・ページにアクセスするには、**ホーム**をクリックします。


役割として実行の権限があるタスクは、WebSphere Commerce アクセラレーターのホーム・ページ・メニューに表示されています。これらのタスクは、管理コンソールを使用してサイト管理者によって定義されるユーザー役割と権限レベルを基盤とします。


 以下の表では、使用可能なメニュー、メニューへのアクセス権保持者、および企業顧客間 (B2C) ストアのメニューを使用して実行できるタスクを説明します (企業間 (B2B) ストアに関する情報については、この次の表を参照してください。):

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
ストア名	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • オペレーション・マネージャー • セラー • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 承認要求のリスト、検索、承認、および拒否 • 各承認要求の要約の表示 • 承認の送信のリストおよび検索 • 各承認の送信の要約の表示 • 配送センターの作成、変更、および削除 • 返品理由の作成、変更、および削除 •  コラボレーション・ワークスペースの作成、変更、削除、メンバーの追加、およびオープン • ビジネス・インテリジェンス・レポートの管理
操作	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • オペレーション・マネージャー • セラー • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客のリスト • 顧客登録情報の検索、作成、および変更 • 顧客のログオン・パスワードのリセット • オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 • 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル • 顧客のオーダー履歴の表示 • 各オーダーの要約の表示 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • バッチ支払いの検索 • Payment Manager へのアクセス • コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 • 各返品の要約の表示 • ピッキング・バッチおよび予定在庫レコードのリスト • 在庫および配送の追跡記録 • 顧客用のオークションのリストと検索 • リアルタイム顧客サポートの提供 • オーダー管理レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • セラー 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客プロフィールのリスト、作成、変更、削除、および複製 • 各プロフィールの要約の表示 • キャンペーンのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーンの公開 • キャンペーン・イニシアチブのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーン・イニシアチブ統計の表示 • キャンペーン・イニシアチブの条件の作成、変更、および削除 • e-マーケティング・スポットの作成、変更、スケジュール、および削除 • 宣伝広告の作成、変更、削除 • 各宣伝広告の要約の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
商品取引	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 商品マネージャー • セラー • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 商品の検索とリスト • 商品詳細情報の変更 • カテゴリーの検索およびリスト • 予定在庫レコードの検索およびリスト • 商品の取引先の検索およびリスト • オークションの検索、リスト、作成、変更、および撤回 • オークションに対する入札のクローズ • 顧客の入札のリストおよび撤回 • ディスカッション・メッセージの作成および応答、またメッセージを公開するなどのディスカッション・フォーラムの管理 • ディスカッション・メッセージの作成および削除 • ディスカッション・メッセージに対する応答 • ディスカッション・メッセージの公表 • 入札ルール of リスト • 入札ルールの作成、変更、および削除 • オークション・スタイルのリスト • オークション・スタイルの作成、変更、および削除 • 割引のリスト、作成および削除 • 各割引の要約の表示 • 割引の活動化および非活動化 • クーポンのリスト、作成および削除 • 商品アドバイザー統計の表示

 以下の表で、使用可能なメニュー、メニューへのアクセス権保持者、B2B ストアのメニューを使用して実行できるタスクの概要を示します (B2C ストアに関連する情報は、これの前の表を参照してください。):

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
ストア名	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • 荷造り業者 • 受取人 • 返品担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • 物流管理マネージャー • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 承認要求のリスト、検索、承認、および拒否 • 各承認要求の要約の表示 • 承認の送信のリストおよび検索 • 各承認の送信の要約の表示 • 配送センターの作成、変更、および削除 • 返品理由の作成、変更、および削除 •  コラボレーション・ワークスペースの作成、変更、削除、メンバーの追加、およびオープン • 運用レポートの管理 • ビジネス・インテリジェンス・レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
セールス	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 顧客サービス・スーパーバイザー • 顧客サービス担当者 • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • 物流管理マネージャー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> •  アカウントのリストと検索 •  RFQ (見積依頼) のリストと検索 •  商品個別設定属性の作成、変更、および削除 • 顧客のリスト • 顧客登録情報の検索、作成、および変更 • 顧客のログオン・パスワードのリセット • オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 • 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル • 顧客のオーダー履歴の表示 • 各オーダーの要約の表示 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 • バッチ支払いの検索 • Payment Manager へのアクセス • コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 • 各返品の要約の表示 • 顧客用のオークションのリストと検索 • オーダー管理レポートの管理

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
マーケティング	<ul style="list-style-type: none"> • プロダクト・マネージャー • 販売管理者 • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 	<ul style="list-style-type: none"> • 顧客プロフィールのリスト、作成、変更、削除、および複製 • 各プロフィールの要約の表示 • キャンペーンのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーンの公開 • キャンペーン・イニシアチブのリスト、作成、変更、および削除 • キャンペーン・イニシアチブ統計の表示 • キャンペーン・イニシアチブの条件の作成、変更、および削除 • e-マーケティング・スポットの作成、変更、スケジュール、および削除 • 宣伝広告の作成、変更、削除 • 各宣伝広告の要約の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
商品	<ul style="list-style-type: none"> • バイヤー • 商品マネージャー • セラー • セールス・マネージャー • アカウント担当者 • カテゴリー・マネージャー 	<ul style="list-style-type: none"> • 商品の検索とリスト • 商品詳細情報の変更 • カテゴリーの検索およびリスト • 予定在庫レコードの検索およびリスト • 商品の取引先の検索およびリスト • オークションの検索、リスト、作成、変更、および撤回 • オークションに対する入札のクローズ • 顧客の入札のリストおよび撤回 • ディスカッション・メッセージの作成および応答、またメッセージを公開するなどのディスカッション・フォーラムの管理 • ディスカッション・メッセージの作成および削除 • ディスカッション・メッセージに対する応答 • ディスカッション・メッセージの公表 • 入札ルール of リスト • 入札ルールの作成、変更、および削除 • オークション・スタイルのリスト • オークション・スタイルの作成、変更、および削除 • 割引のリスト、作成および削除 • 各割引の要約の表示 • 割引の活動化および非活動化 • クーポンのリスト、作成および削除 • 商品アドバイザー統計の表示

メニュー名	ユーザー・グループ	タスク
物流管理	<ul style="list-style-type: none"> 荷造り業者 受取人 返品担当者 物流管理マネージャー セラー 	<ul style="list-style-type: none"> 顧客登録情報の検索、作成、および変更 顧客のログオン・パスワードのリセット オーダーの検索、リスト、変更、分割、およびコメントの付加 顧客のオーダーの発行、変更、およびキャンセル 顧客のオーダー履歴の表示 各オーダーの要約の表示 支払いの承認、デポジット、精算、および検索 バッチ支払いの検索 Payment Manager へのアクセス コメントの検索、リスト、作成、変更、および返品への追加 各返品の要約の表示 ピッキング・バッチおよび予定在庫レコードのリスト 在庫および配送の追跡記録 顧客用のオークションのリストと検索 リアルタイム顧客サポートの提供 オーダー管理レポートの管理


WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザー・インターフェース

WebSphere Commerce アクセラレーターのインターフェースは、複数のノートブック、ウィザード、ダイアログ、およびリストから構成され、タスクを完了するのに役立ちます。 ヘルプを立ち上げるヘルプ・リンクが、各ページの右上隅にあります。

ノートブックとウィザードは、一連のページで構成されます。 顧客プロフィールや商品価格など、WebSphere Commerce システム内の既存の情報を変更する場合にノートブックをオープンします。 ノートブックをナビゲートするには、左側のリンクを使用します。 **OK** をクリックしてノートブックをクローズします。 ノートブックは、その中の 1 ページや数ページだけを使用することができ、それらを順番に進む必要はありません。 ウィザードを進行するにつれて、左側は動的に最新表示され、作成処理のどの段階にいるのかが示されます。

新規カスタマー・オーダーや新規商品キャンペーンなど、新しい情報を作成する場合に、ウィザードが起動されます。 ウィザードをナビゲートするには、「次へ」および「前へ」ボタンを使用し、ページを完了したら「終了」をクリックします。 ノートブックと違って、ウィザードの中は順番に進む必要があります。

ダイアログは単独のページで、タスクを完了するための情報を入力することができます。たとえば、検索ダイアログには検索基準フィールドが設けられています。該当する情報を指定して、「検索」をクリックします。検索結果がリストで表示されます。リストで以下のタスクを実行することができます。

- 特定のリスト項目を処理するには、以下の中から 1 つを行ってください。
 - アイテムの横にあるチェック・ボックスを選択してから、ページ上のボタンの 1 つをクリックします。
 - リストの最初の列からアイテムを選択して、(既存の割引の詳細情報などの) 情報を変更するか、または (カスタマー・オーダーの詳細情報などの) 要約を表示します。
- 検索結果リストのすべてのアイテムを選択するには、リストの左上のチェック・ボックス・アイコンを選択します。
- リストを列別にソートするには、該当する列見出しの横の  アイコンをクリックします。この列を基準にしてリストが昇順にソートされます。
- 長いリストをナビゲートするには、「先頭」、「最終」、「次へ」、または「前へ」をクリックします。また、特定のページに直接移動するには、「ページ番号」フィールドにページ番号を入力してから **GO** をクリックします。このリストの先頭には必ず、現在のページ番号と合計ページ数が示されます。

WebSphere Commerce アクセラレーターでは、タスク完了のために表示したノートブック、ウィザード、ダイアログ、およびリストの履歴も管理しています。履歴は WebSphere Commerce アクセラレーターの右上に表示されます。タスクを過去の時点に戻すには、履歴の中の対応するリンクをクリックしてください。WebSphere Commerce アクセラレーターの中でメニュー・オプションを選択したりアクション・ボタンをクリックしたりすると、進行標識が表示されます。アクションが完了すると、該当するページ名により履歴が更新されます。

履歴は 6 項目まで表示されます。**ホーム**、**ログアウト**、および現行ページへのリンクは常に並んで表示されていますが、間にあるアイテムは、履歴表示域に応じて、先へ進むにつれて前のものが除去され、後のものが追加されていきます。

ノートブックを使用時に、各ページを切り替える場合は、左側のリンクをクリックします。変更を保管してノートブックをクローズするには、任意のページから **OK** をクリックします。ウィザードを使用時には、**次へ** をクリックすると、次のページへ進行します。変更を保管してウィザードをクローズするには、最終ページから **終了** をクリックします。また、情報を保管したくない場合は、ノートブックまたはウィザードのどちらの場合も、**キャンセル** をクリックしてください。情報を保管せずに履歴をナビゲートすると、その情報が失われることを伝える警告メッセージが表示されます。


WebSphere Commerce アクセラレーター・タスクが完了したら、ただブラウザをクローズするのではなく、セッションが切れるように WebSphere Commerce アクセラレーターからログアウトしてください。ログアウトするには、WebSphere Commerce アクセラレーターの履歴から **ログアウト** をクリックします。ログアウトすると、SSL cookie はドロップされ、WebSphere Commerce アクセラレーターへのセキュア・アクセスを失います。これは特に WebSphere Commerce アクセ

ラレーターが、単一のマシンで、異なる権限をもつ複数のユーザーで使用されている場合に重要です (ログアウトによって無許可アクセスを防ぐため)。

WebSphere Commerce アクセラレーターのオープン





WebSphere Commerce アクセラレーターは、下記手順でオープンします。

1. Microsoft Internet Explorer 5.5 以上がインストールされたマシンを使用していることを確認する (推奨ブラウザ・バージョンは 5.5)。これより前のバージョンの Internet Explorer や他のブラウザでは、WebSphere Commerce アクセラレーターを表示することはできません。
2. WebSphere Commerce インスタンスが開始していることを確認する。インスタンスは、WebSphere Application Server 管理コンソールを使用して開始できません。
3. WebSphere Commerce アクセラレーターが、デフォルトの Internet Explorer ブラウザー設定をサポートするようにする。設定を変更した場合、あるいは設定を検証するには、「ツール」メニューを選択して「インターネット オプション」を選択します。「インターネット オプション」ダイアログがオープンされます。以下の設定が構成されていることを確認してください。
 - 以下の要領でフォントを設定する。
 - a. 全般タブから、フォントをクリックする。フォント・ダイアログがオープンされます。
 - b. 言語リストから、日本語を選択する。
 - c. Web ページ フォント・リストから、MS ゴシック を選択する。
 - d. テキスト形式フォント・リストから、MS ゴシック を選択する。
 - e. 「OK」 をクリックします。その他のフォントおよびフォント・サイズは、画面上の WebSphere Commerce アクセラレーターのフォームのレイアウトに影響を与える場合があります。
 - 以下の要領でキャッシュを使用可能にする。
 - a. 全般タブの、インターネット一時ファイルで、設定をクリックする。設定ダイアログがオープンされます。
 - b. 保管しているページの新しいバージョンの確認で、自動的に確認するを選択する。
 - c. キャッシュのために使用されるディスク・スペース容量がゼロより大に設定されていることを確認する。
 - d. OK をクリックします。
4. 最適の結果を得るために、コンピューターの設定を以下のように調整する。
 - 画面の解像度を少なくとも 800 x 600 ピクセルに設定する。1024 x 768 ピクセルを推奨します。
 - モニターのカラー・パレットを 256 色以上に設定する。
 - Windows デスクトップの表示 フォント・サイズを小さいフォントに設定する。

 Windows マシンから、コンピューターの設定を処理するために、「スタート」、「コントロール パネル」、「画面」、および「設定」タブをクリックし、以下を行います。

- 画面の領域ボックスで、画面の解像度が少なくとも 800 x 600 ピクセルであることを確認する。1024 x 768 ピクセルを推奨します。
 - 色ドロップダウン・リストから、256 色を選択する。
 - フォント・サイズ・ドロップダウン・リストから、小さいフォントを選択する。
5. ブラウザー・ウィンドウを最大化する。
 6. 以下のいずれかを行って、WebSphere Commerce アクセラレーターを開始する。

•  WebSphere Commerce がインストールされているマシン上で「スタート」、「プログラム」、「IBM WebSphere Commerce」、および「WebSphere Commerce Accelerator (WebSphere Commerce アクセラレーター)」をクリックする。


•     WebSphere Commerce がインストールされているマシン、または WebSphere Commerce マシンと同じネットワーク上のクライアント・マシンから、ブラウザーで以下の Web アドレスにアクセスする。

`https://host_name:8000/accelerator` ここで *host_name* は、WebSphere Commerce サーバーの完全修飾 HTTP ホスト名です。

7. 以下のようにして WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンする。
 - a. 「ログオン」ページから、WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・ユーザー名とパスワードを入力する
 - b. 初期値では、ユーザー名とパスワードは両方とも `wcsadmin` に設定されています。デフォルト ID と `wcsadmin` のパスワードで初めて WebSphere Commerce アクセラレーターにログオンする場合は、「パスワード変更」ページが表示され、このパスワードの変更を促すプロンプトが出されます。以下のようにします。


- 1) 旧パスワード・フィールドに、現在の WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・パスワードを入力する。

    このフィールドは、128 字までの単一バイト英数字を受け入れます。

 このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

- 2) 新規パスワード・フィールドに、新規のログオン・パスワードを入力する。

    このフィールドは、128 字までの単一バイト英数字を受け入れます。

 このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

- 3) 「確認パスワード」フィールドに、その新規パスワードを再入力する。
- 4) 変更をクリックして、新規パスワードを保管する。「ストア情報の選択」ページが表示されます。

注: ストアが 1 つ、言語が 1 つだけ定義され、配送センターが定義され

ていない場合は、「ストア情報の選択」ページが表示されます。ホーム・ページへは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「ログオン」ページから直接移ることができ、7 c ~ f のステップを完了する必要はありません。

- c. 「ストア情報の選択」の「名前」ドロップダウン・リストから、ストアの名前を選択します。単一ストアでの操作が許可されている場合、ストア名は事前選択されます。
- d. 「言語」ドロップダウン・リストから、ストアの管理に使用する言語を選択します。単一言語での操作が許可されている場合、言語は事前選択されません。
- e. 配送業務にかかわる役割が割り当てられている場合は、「配送センター」ドロップダウン・リストから、ストアに関連した配送センターの名前を選択します。
- f. 「OK」をクリックします。「WebSphere Commerce Accelerator」ホーム・ページが表示されます。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

注:

- WebSphere Commerce アクセラレーターの使用中に、ブラウザーの「最新表示」または「戻る」ボタンをクリックしないでください。何かデータを入力した後でウィンドウを再ロードすると、そのデータは失われます。
- WebSphere Commerce アクセラレーター・タスクが完了したら、ただブラウザーをクローズするのではなく、セッションが切れるように WebSphere Commerce アクセラレーターからログアウトしてください。ログアウトするには、WebSphere Commerce アクセラレーターの右上に表示されている履歴から、ログアウトをクリックする。ログアウトすると、SSL cookie はドロップされ、WebSphere Commerce アクセラレーターへのセキュア・アクセスを失います。これは特に WebSphere Commerce アクセラレーターが、単一のマシンで、異なる権限をもつ複数のユーザーで使用されている場合に重要です (ログアウトによって無許可アクセスを防ぐため)。

WebSphere Commerce アクセラレーター・ユーザーのパスワードの変更

適切な権限があれば、WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザーあるいは自分自身の WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・パスワードを変更することができます。パスワードを変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。
2. 「ログオン」ページから、パスワードの変更チェック・ボックスを選択する。「パスワードの変更」ページが表示されます。
3. 旧パスワード・フィールドに、現在の WebSphere Commerce アクセラレーターのログオン・パスワードを入力する。



このフィールドは、128 文字までの単一バイト英数字を受け入れます。



このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

4. 新規パスワード・フィールドに、新規のログオン・パスワードを入力する。

    このフィールドは、128 字までの単一バイト英数字を受け入れます。

 このフィールドは、英数字で 128 文字まで受け入れます。

5. 「確認パスワード」フィールドに、その新規パスワードを再入力する。
6. 変更をクリックして、新規パスワードを保管する。

顧客プロフィール

顧客プロフィールは、登録情報、個人情報、住所情報、顧客の文化的バックグラウンド、購入履歴、および、顧客の動的グループまたはアカウントを定義するその他の各種属性を統合します。顧客プロフィールは広告、販売促進、お勧め商品提示商法、および割引のターゲットとして機能します。よって、キャンペーンを作成する前に、顧客プロフィールを作成する必要があります。

プロフィールは、動的なものと考えられます。それは、顧客がいずれかのプロフィールに属する根拠となる個人データや購入履歴は、変動する可能性があるからです。たとえば、顧客の登録状況に基づいて、プロフィールを作成するとします。登録してはじめて正当な顧客とみなすプロフィールを作成すると、未登録の顧客は除外されることとなります。除外された顧客でもその後で登録すれば、そのターゲット・プロフィールのメンバーとなり、プロフィールが削除されない限りずっとメンバーのままになります。

顧客プロフィールはまた、静的基準もサポートします。特定の顧客またはアカウントを明示的に組み込んだり除外したりすることができます。その指定は、定義済みのすべての動的基準をオーバーライドします。このようにすれば、たとえば、本来なら適格でなかったはずの顧客をプロフィールに組み込んだり、本来なら適格であったはずのアカウントを除外したりすることができます。

顧客プロフィールを作成および編集するには、WebSphere Commerce アクセラレーターの「顧客プロフィール」ノートブックを使用します。

顧客プロフィール要約の表示

顧客プロフィールの要約を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、顧客プロフィールをクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
3. 表示したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「要約」をクリックする。「顧客プロフィールの要約」ページが表示され、選択された顧客プロフィールに関する情報が示されます。
 - 顧客プロフィール情報を変更したい場合は、「変更」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がります。
 - 顧客プロフィールを削除したい場合は、「削除」をクリックする。プロフィールが削除され、「顧客プロフィール」ページに戻ります。

- このプロフィールを複製して新規プロフィールを作成したい場合は、「複製」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がり、現在のプロフィールの全データが表示されます。
4. 変更しない場合は、確認し終わったら、「OK」をクリックし直前のページに戻る。

新規顧客プロフィールの作成

新規の顧客プロフィールを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「顧客プロフィール」をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
3. 「新規」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが表示されます。
4. 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを完了し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページヘルプを利用できます。
5. **OK** をクリックして、プロフィールを保管しノートブックをクローズする。顧客プロフィールは、「顧客プロフィール」ページに表示されます。

顧客プロフィールの変更

顧客プロフィールを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、顧客プロフィールをクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。
3. 変更したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「変更」をクリックする。「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がりま
4. 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを更新し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページヘルプを利用できます。
5. 「OK」をクリックして、更新したプロフィールを保管しノートブックをクローズする。

顧客プロフィールの複製

既存のプロフィールを複製することにより新規のプロフィールを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、顧客プロフィールをクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが示されます。

- 複製したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「複製」をクリックする。これによって、「顧客プロフィール」ノートブックが立ち上がり、コピー元のプロフィールの全データが表示されます。
- 必要に応じてそれぞれのページごとにフィールドを更新し、左側のリンクを使用してページを切り替える。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
- 「OK」をクリックして、更新したプロフィールを保管しノートブックをクローズする。プロンプトが表示され、このプロフィールに対して新規の名前を指定するように指示されます。

顧客プロフィールの削除

顧客プロフィールを削除するには、以下のようにします。

- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
- 自分のストアを選択する。
- 「マーケティング」メニューから、「顧客プロフィール」をクリックする。「顧客プロフィール」ページが表示され、選択されたストアに現在定義されている顧客プロフィールが表示されます。
- 削除したい顧客プロフィールの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
- 「削除」をクリックする。これで、このページに、顧客プロフィール・リストが更新されて表示されます。

注: 現在アクティブ・キャンペーン・イニシアチブと関連付けられている顧客プロフィールを削除することはできません。

キャンペーン

キャンペーンは、販売促進活動を編成するための機能を提供します。通常、キャンペーンは販売促進管理者か、取引管理マネージャーのいずれかによって作成されます。これらのキャンペーンは、多くの場合ある一連の目的に関連付けられます。たとえば「入学進学」キャンペーンには、このキャンペーン中に子供服の売れ行きを上げるなどの目的があります。

WebSphere Commerce では、条件を定義するキャンペーン・イニシアチブをキャンペーン内でいくつでも設けることができます。定義済み条件が true と評価されると、キャンペーン・イニシアチブは顧客を対象としたコンテンツを生成します。するとそのキャンペーンは、そのイニシアチブを編成する上位のマーケティング・エレメントとなります。

キャンペーンは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「キャンペーン」ウィザードを使用して作成されます。

新規キャンペーンの作成

新規のキャンペーンを作成するには、以下のようにします。

- WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. **販売促進**メニューから、**キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されません。
3. **「新規」**をクリックする。「新規キャンペーン」ウィザードが立ち上がり、キャンペーンを定義できるようになります。
4. 作成したいキャンペーンに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。「次へ」ボタンを使用して、ウィザードのページを移動する。「前へ」ボタンを使用すれば、前のページに戻ることができます。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. **「終了」** をクリックして、キャンペーンを保管する。キャンペーンは、「キャンペーン」リストに表示されます。このキャンペーンは、先にイニシアチブを作成しなければ使用することはできません。

キャンペーンの変更

キャンペーンを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. **販売促進**メニューから、**キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されません。
3. 変更したいキャンペーンの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **変更**をクリックする。選択したキャンペーンを含む「キャンペーン」ノートブックが表示されます。
5. 変更したキャンペーンに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを更新する。ノートブックの左側にあるナビゲーション・パネルを使用して、ページの間で移動します。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
6. **OK** をクリックして、変更したキャンペーンを保管する。

キャンペーンの削除

キャンペーンを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. **販売促進**メニューから、**キャンペーン**をクリックする。「キャンペーン」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されているキャンペーンが示されません。
3. 除去したいキャンペーンの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **削除**をクリックする。キャンペーンが「キャンペーン・リスト」から削除されません。

キャンペーン・イニシアチブ

キャンペーン・イニシアチブは、ターゲットとなる販売促進内容を生成するための機能を提供します。通常、キャンペーン・イニシアチブは販売促進管理者か、取引管理マネージャーのいずれかによって作成されます。イニシアチブの集まりを収めたキャンペーンに関連付けられます。この関係の例として、事務用品店が「入学進学」のキャンペーンを行う場合、イニシアチブは、下位のアクション (ペンの割引に関する広告をしたり、職業が学生と登録されリストされている顧客に対して、レポート用紙を勧めたりするなど) に対する責任を担うものになります。

キャンペーン・イニシアチブは、3種類の動的コンテンツを表示できます。1つ目のコンテンツ・タイプは、お勧め商品提示商法イニシアチブで、2つ目は協調フィルタリングをベースにした拡販活動、3つ目は広告掲示です。お勧め商品提示商法のコンテンツは、ルール・ベースの商品提示を念頭に設計されます。この場合、ある顧客のプロファイルやその他の顧客の行動を基に特定の顧客がターゲットとなります。この種のコンテンツを表示するイニシアチブは、クロスセルおよびアップセルを誘引するのに使うためのものです。これに対して、協調フィルタリング・ベースの拡販活動は、同じく商品の拡販を図るためのものですが、別の拡販アルゴリズムを使用します。つまり、事前定義ルールではなく顧客の全体的な行動に基づいて対象アイテムを選定します。最後に、広告掲示は、お勧め商品提示商法と同じ基準で特定の顧客をターゲットとした広告コンテンツを提示するよう設計されます。ただしこれは、オンライン・ストアの活動に対する顧客認知の向上、特別なオファーの強調、およびブランドに対する認知の強化を図るための広告です。

サイト上のどのページにもイニシアチブを組み入れることができます。サイトが設計されると、e-MarketingSpots と呼ばれる特別なプレースホルダーがサイト上に置かれます。これらのプレースホルダーは、顧客に表示される際に、特定のターゲット・コンテンツに置き換えられます。ターゲット位置は、スケジューリング・イニシアチブによって割り当てられ、任意の場所に e-マーケティング・スポットを表示します。

キャンペーン・イニシアチブには、いつ誰にこのキャンペーン・イニシアチブを表示するかを決定する条件があります。そのような条件は、イニシアチブの作成時に定義されますが、イニシアチブの存続中に変更すれば表示の有無および表示コンテンツを調整することができます。

キャンペーン・イニシアチブは、その使用に関する統計情報を生成します。これらの統計情報は、マーチャント、マーケティング管理者、および取引管理マネージャーが WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して表示できます。統計情報は、イニシアチブが実施されている各 e-Marketing スポットごとに、イニシアチブの閲覧率を表示します。これらの統計情報は、イニシアチブの有効性についてのフィードバック、およびイニシアチブを表示するさまざまな場所での比較成功率を提供します。

キャンペーン・イニシアチブは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードを使用して作成されます。

キャンペーン・イニシアチブの表示

キャンペーンのイニシアチブを表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「キャンペーン・イニシアチブ」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ・リスト」が表示され、ストアに定義されたイニシアチブがすべて示されます。

キャンペーンの新規イニシアチブの作成

既存のキャンペーンに対して新規イニシアチブを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. マーケティング・メニューから、**キャンペーン・イニシアチブ**をクリックする。選択したキャンペーンのイニシアチブを含む「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示されます。
3. **新規**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」ウィザードが表示されず。
4. 作成したいキャンペーン・イニシアチブに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了します。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. **終了**をクリックして、新規キャンペーン・イニシアチブを保管する。イニシアチブは、「キャンペーン・イニシアチブ」リストに表示されます。

キャンペーン・イニシアチブの変更

キャンペーン・イニシアチブを変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「**キャンペーン・イニシアチブ**」をクリックする。選択したキャンペーンのイニシアチブを含む「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示されます。
3. 変更したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. 「**変更**」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」ノートブックが表示され、選択されたキャンペーン・イニシアチブの情報が示されます。
5. 更新したキャンペーン・イニシアチブに適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。ノートブックの左側にあるナビゲーション・パネルを使用して、ページの間で移動します。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
6. 「**OK**」をクリックして、変更したキャンペーン・イニシアチブを保管する。

キャンペーン・イニシアチブの統計の表示

キャンペーン・イニシアチブの統計を表示するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. マーケティング・メニューから、**キャンペーン・イニシアチブ**をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示され、選択されたキャンペーンのイニシアチブが示されます。
3. 統計を表示したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **統計**をクリックする。統計カウンターの表示ソースが実動サーバーとして定義されていて、WebSphere Commerce アクセラレーターが開発またはステージング・サーバー上にある場合には、統計を表示するために実動サーバーにログオンする必要があります。「キャンペーン・イニシアチブ統計」ウィンドウが表示されます。
5. ページ・ヒストリーを使用して、所要の位置へ戻る。

キャンペーン・イニシアチブの削除

キャンペーン・イニシアチブを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「**キャンペーン・イニシアチブ**」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブ」リストが表示され、選択されたキャンペーンのイニシアチブが示されます。
3. 削除したいキャンペーン・イニシアチブの左側にあるチェック・ボックスを選択して、「**削除**」をクリックする。

e-マーケティング・スポット

e-マーケティング・スポットは、個人向けに設定した販売促進コンテンツを表示するスペースをストア・ページ上に確保します。e-マーケティング・スポットはページ作成中に使用され、顧客側に表示される動的コンテンツ用のスペースを用意します。顧客がページを要求すると、ページ上にある e-マーケティング・スポットがルール・サーバーと通信して、そのスポットに関連するルール・ベース・コードを処理します。各 e-マーケティング・スポットには、関連する 1 つまたは複数のキャンペーン・イニシアチブがあります。e-マーケティング・スポットは、JSP 技術と連携して使用される特別な data bean によってサポートされますが、それによって WebSphere Commerce のルール処理システムを使った Web ページ・コンテンツを生成します。

e-マーケティング・スポットは、WebSphere Commerce アクセラレーターの「e-マーケティング・スポット」ウィザードを使用して作成されます。e-マーケティング・スポットの配置および作成については、コンテンツに対して責任を負うマーチャント、JavaServer Page の作成に責任を負うページ・デザイナー、およびそのスポットに表示されるグラフィックスやテキストの作成にあたるメディア・デザイナーが、互いに協力して決定する必要があります。これにより、スポットが十分なスペースと美観のとれたサイト設計を備えて実装されます。e-マーケティング・スポットには HomePageAd または CheckoutPageRecommendation のように、場所を組み込んだ解釈可能な名前を付けることをお勧めします。これにより、表示される場所や記載されている内容について混乱することが少なくなります。また、必要であれば

ば、同じページに表示される 2 つの e-マーケティング・スポットを区別するために、名前に番号を付けることができます。e-マーケティング・スポット名は、有効な Java ID でなければなりません。

ページ・デザイナーは、必要なページおよび指定された場所に、該当する e-マーケティング・スポットを提供する責任を負います。e-マーケティング・スポットを定義するには、WebSphere Commerce の汎用 bean である EMarketingSpot bean を使います。この bean の名前プロパティは、必要な e-マーケティング・スポットごとに指定する必要があります。これにより、各 e-マーケティング・スポットが固有になります。この bean は Commerce Studio にあります。

e-マーケティング・スポットの変更

e-マーケティング・スポットを変更するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「**e-マーケティング・スポット**」をクリックする。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが示されます。
3. 変更したい e-マーケティング・スポットの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「**変更**」をクリックする。「e-マーケティング・スポット定義」ページが立ち上がります。これには選択された e-マーケティング・スポットの情報が入っています。
4. 選択された e-マーケティング・スポットの情報を更新する。
5. 「**終了**」をクリックして、更新された e-マーケティング・スポットを保管する。

e-マーケティング・スポットの作成

e-マーケティング・スポットを作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「**e-マーケティング・スポット**」をクリックする。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが示されます。
3. 「**新規**」をクリックする。「新規の e-マーケティング・スポット」ウィザードが立ち上がり、e-マーケティング・スポットを定義できるようになります。
4. 必要に応じて「e-マーケティング・スポット定義」ページを完成させる。
5. 「**終了**」をクリックして、e-マーケティング・スポットを保管する。e-マーケティング・スポットが「e-マーケティング・スポット」リストに表示されます。e-マーケティング・スポットを使用できるようにするには、その前にサイト設計者が該当するページに e-マーケティング・スポット・コードを組み込んでおく必要があります。

e-マーケティング・スポットの削除

e-マーケティング・スポットを削除するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」をクリックする。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが示されます。
3. 削除したい e-マーケティング・スポットの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。

e-マーケティング・スポットのキャンペーン・イニシアチブのスケジュールリング

e-マーケティング・スポットのキャンペーン・イニシアチブをスケジュールするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「e-マーケティング・スポット」をクリックする。「e-マーケティング・スポット」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている e-マーケティング・スポットが示されます。
3. キャンペーン・イニシアチブをスケジュールしたい e-マーケティング・スポットの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「スケジュール」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」リストが表示されます。
4. 「新規」をクリックする。「キャンペーン・イニシアチブのスケジュール」ページが表示されます。
5. 各フィールドに適切な値を入力して、ページを完成させる。「OK」をクリックして、スケジュールの割り当てを保管する。

広告コピー

広告コピーは、キャンペーン用に作成されたすべてのサポート・マテリアルを指します。通常、そのようなマテリアルは、内容に応じてライター・チームまたはグラフィック・アーティストによって作成されます。その場合、商品の写真や広告で使用されるグラフィック、または商品を宣伝する販売促進テキストなどの表示コンテンツを広告コピーに組み込む必要があります。

どの広告掲示でも、広告コピーをサイトで使用する前に WebSphere Commerce データベース内で定義する必要があります。そのため、キャンペーンの前に要件を確定するためにマーケティング部門と制作部門とが連絡を取り合う必要があります。広告コピーの定義が完了したら、キャンペーンの作成時に参照することができ、必要に応じて表示できます。

広告コピーおよびその他のキャンペーン資産は、WebSphere Commerce アクセラレーターを使って作成します。

広告コピーのプレビュー

広告コピーをプレビューするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. 「マーケティング」メニューから、「広告コピー」をクリックする。「広告コピー」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている広告コピーが表示されます。
3. プリビューしたい広告コピーの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「要約」をクリックする。「広告コピーの要約」ページが表示されます。このページには広告コピーについて定義されている情報が示され、広告コピーが表示されます。
4. 広告コピーのプレビューを終えたら、「クローズ」をクリックする。

新規広告コピーの作成

広告コピーを作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「広告コピー」をクリックする。「広告コピー」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている広告コピーが表示されます。
3. 「新規」をクリックする。「広告コピー」ウィザードが立ち上がり、広告コピーを定義できるようになります。
4. 作成したい広告コピーについて、必要に応じて「Ad Copy general (広告コピー一般)」ページを完成させる。
5. 「次へ」をクリックして、「広告コピー説明」ページに進む。
6. 作成したい広告コピーについて、必要に応じて「広告コピー説明」ページを完了する。
7. 「終了」をクリックして、広告コピーを保管する。広告コピーが「広告コピー」リストに表示されます。

定義済み広告コピーの変更

定義済みの広告コピーを変更するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「マーケティング」メニューから、「広告コピー」をクリックする。「広告コピー」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている広告コピーが表示されます。
3. 変更したい広告コピーの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「変更」をクリックする。「広告コピー」ウィザードが立ち上がります。これには選択された広告コピーについて定義されている情報が入っています。
4. 選択された広告コピーの情報を変更する。
5. 「終了」をクリックして、更新された広告コピーの情報を保管する。

広告コピーの削除

広告コピーを削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2. 「マーケティング」メニューから、「広告コピー」をクリックする。「広告コピー」リストが表示され、選択されたストアに現在定義されている広告コピーが示されます。
3. 削除したい広告コピーの左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。選択された広告コピーが削除されます。

クーポン販売促進

クーポン販売促進は、顧客が購買を決定するきっかけになる可能性があります。クーポンとは、クーポン販売促進のインスタンスです。クーポンは、特定の商品または買い物全体のどちらに対しても適用することができます。たとえば、赤い野球帽の在庫が多数ある場合、限定期間を設けて 25% 割引で提供したり、ストアで 1 万円以上の商品を購入した全員に対して、野球帽を 300 円値引きしたりすることができます。



クーポン販売促進は、WebSphere Commerce アクセラレーターの「クーポン」ウィザードを使用して作成されます。

クーポン販売促進は、アクティブ、有効納期切れ、または削除済みのいずれかになります。クーポン販売促進は、作成時にはデフォルトでアクティブに設定されますが、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用していつでも削除することができます。クーポン販売促進は、終了日を過ぎると有効納期切れになります。

特記事項: 適用法によってクーポンの使用が禁止されている地域では、クーポンの使用を奨励していないことに注意してください。

新規クーポン販売促進の作成

新規のクーポン販売促進を作成するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
3.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
3. 「新規」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィザードが表示されます。
4. 作成したいクーポン販売促進に適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完成させる。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 「終了」をクリックして、クーポン販売促進を保管する。クーポン販売促進は、「クーポン販売促進」リストに表示され、自動的にアクティブに設定されず。

注:



1. あらかじめ、開発サーバーから実動 WebSphere Commerce サーバーにクーポン販売促進データを伝搬しておかないと、カスタマー・オーダーでクーポン販売促進を使用することはできません。サイト管理者に連絡して援助を受けてください。

クーポン販売促進の支援材料の登録

クーポン販売促進の支援材料は、 WebSphere Commerce アクセラレーターの広告コピー・インフラストラクチャーを使用してデータベースに登録されます。

クーポン販売促進のリストの表示

クーポン販売促進のリストを表示するには、以下のようにします。



1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
3.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。

クーポン販売促進の配布

クーポン販売促進は、 WebSphere Commerce アクセラレーターのキャンペーン・イニシアチブ・バナー広告インフラストラクチャーを使用する顧客に配布されます。

クーポン販売促進の削除

クーポン販売促進を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
3.  「商品」メニューから、「クーポン販売促進」をクリックする。「クーポン販売促進」ウィンドウが表示され、現在定義されているクーポン販売促進のリストが示されます。
3. 削除したいクーポン販売促進の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。クーポン販売促進がクーポン販売促進リストから除去され、データベースで削除用のマークが付けられます。

注:

1. 削除用のマークの付いたクーポン販売促進と同じ名前のクーポン販売促進を作成することはできません。削除用のマークの付いたクーポン販売促進に対応するデータベース・レコードは、データベース・クリーンアップ・ユーティリティが実行されるまで、物理的に除去されません。同じ名前で作成する必要がある場合には、システム管理者に連絡してください。

クーポン・ウォレット

クーポン・ウォレットとは、登録済みショッパーの資金化クーポンのコンテナのことです。ショッパーがクーポン・バナー広告をクリックすると、そのショッパーのクーポン・ウォレットにクーポンが追加されます。クーポン・ウォレットは、ショッパーのクーポンの管理に役立ちます。たとえばショッパーは、各自のウォレット内のクーポンの詳細情報を表示、削除、および検査することができます。さらにシステムも、クーポン・ウォレットを調べれば、チェックアウト時において適用可能なクーポンを確かめることができます。

特記事項: 適用法によってクーポンの使用が禁止されている地域では、クーポンの使用を奨励していないことに注意してください。

割引

割引は、顧客が購買を決定するきっかけになる可能性があります。パーセント割引(10%引きなど)または一定額割引(5000円引きなど)を提示できます。割引は、特定の商品または買い物全体のどちらに対しても適用することができます。たとえば、高齢者には20%の割引を行ったり、または赤い野球帽が過剰在庫の場合、限定期間を設けて25%割引で提供したりできます。



割引は、WebSphere Commerce アクセラレーターの「割引」ウィザードを使用して作成します。作成したら、その割引を実動サーバーに展開しなければなりません。ローダー・ユーティリティを使用して作成された割引、または以前のバージョンからの移行時にインポートされた割引は、機能的には問題ありませんが、WebSphere Commerce アクセラレーターには正しく表示されない場合があります。

割引は、アクティブまたは非アクティブのいずれにも設定できます。割引作成時にはデフォルトでアクティブに設定されますが、WebSphere Commerce アクセラレーターを使用していつでも非アクティブにすることができます。割引をアクティブから非アクティブに変更する場合、その変更を有効にするには割引を実動サーバーに伝搬する必要があります。たとえば、ある割引商品の在庫レベルが需要の増加に対応できないと判断した場合、その割引を有効期限前に非アクティブにすることができます。

割引を公示するには、WebSphere Commerce アクセラレーターのマーケティング・ツールを使います。そのためには、割引を告知する広告コピーを作成してから、広告のスケジュールをたてるときにe-マーケティング・スポットに掲載する広告コピーを選択します。

新規割引の作成

新規の割引を作成するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3.  「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。



3. 「新規」をクリックする。「割引」ウィザードが表示されます。
4. 作成したい割引に適切な値を選択して、必要に応じて各ページを完了させる。各フィールドに関して不明な点があれば、ページ・ヘルプを利用できます。
5. 終了 をクリックして、割引を保管する。割引は、割引リストに表示され、自動的にアクティブに設定されます。

注:

1. あらかじめ、開発サーバーから実動 WebSphere Commerce サーバーに割引データを伝搬しておかないと、カスタマー・オーダーで割引を使用することはできません。サイト管理者に連絡して援助を受けてください。



割引の要約の表示

現在定義されている割引の要約を表示するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. 表示したい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「要約」をクリックする。「割引の要約」ページが表示され、選択された割引に関する情報が示されます。
4. 終了した場合には、「OK」 をクリックして、直前のページに戻る。


割引のアクティブ化


割引をアクティブにするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。
3. アクティブにしたい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「アクティブ化」をクリックする。選択した割引が実動サーバーでアクティブにされます。

割引の非アクティブ化

割引を非アクティブにするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。


 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。


3. 非アクティブにしたい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「非アクティブ化」をクリックする。選択した割引が実動サーバーで非アクティブにされます。

割引の削除

割引を削除するには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザーの役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。

2.  「商品」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。

 「商品取引」メニューから、「割引」をクリックする。現在定義されている割引のリストを含む「割引」ウィンドウが表示されます。

3. 削除したい割引の左側にあるチェック・ボックスを選択する。「削除」をクリックする。割引が割引リストから除去され、データベースで削除用のマークが付けられます。

注:

1. 削除用のマークの付いた割引と同じ名前の割引を作成することはできません。削除用のマークの付いた割引に対応するデータベース・レコードは、データベース・クリーンアップ・ユーティリティーが実行されるまで、物理的に除去されません。同じ名前で作成する必要がある場合には、システム管理者に連絡してください。

第 2 章 レポート

WebSphere Commerce には 2 つのレポート・ソースがあります。すべてのレポートは、WebSphere Commerce アクセラレーターを通じて使用できます。これらのレポートは、多様なソースに関する情報を提供しますが、以下のカテゴリーに分けることができます。

ビジネス・レポート

アカウント管理および契約管理

このレポートは、アカウントと契約の観点から見たオーダーに関する情報を示します。なおこのレポートは、操作可能データベースからリアルタイムで生成されます。

マーケティング

これらの統計レポートには、キャンペーン・イベントと顧客の商品アドバイザー使用について収集された情報が含まれます。詳しくは、販売促進イベント・モニターのオンライン・ヘルプを参照してください。

セールス

このレポートには、地理、時刻、および日付に応じたセールス情報が含まれています。

上記レポートの多くは、WebSphere Commerce アナライザーによって生成されます。

運用レポート

このレポートは、在庫管理、オーダー管理、返品管理、および配送をサポートする情報を示します。なおこのレポートは、操作可能データベースからリアルタイムで生成されます。

このレポートはサイトに関して広範囲な情報を示します。リモート・マシンのデータマートへ引き出され、詳細にわたる情報を作成するために分析された情報がこのレポートに示されます。このレポートは WebSphere Commerce Analyzer をインストールして構成済みの場合のみ使用可能です。詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide* を参照してください。

販売促進イベント・モニター

販売促進イベント・モニターは、販売促進キャンペーンで生成される統計情報を収集するものです。この統計情報を使って、様々なキャンペーンや個々のイニシアチブの相対的な成功度を推定することができます。また、これを収集して、商品アドバイザーのショッピング・メタフォアの効果を示すこともできます。現在の統計情報の概要は、WebSphere Commerce アクセラレーターを通じて表示できます。生成される統計は、オプションの追加製品 WebSphere Commerce Analyzer を使用して、さらなるビジネス・インテリジェンスの基盤として機能します。

販売促進イベント・モニターは統計を収集するのに、WebSphere Commerce データベースにある単純なカウンターを使用します。このカウンターは、トリガー・イベントが発生するたびに増えます。統計は、以下のイベントごとに集計されます。

- キャンペーン・イベント。効果やクリックによる閲覧を含みます。効果は、特定のキャンペーン・イニシアチブが顧客に表示されるたびに、発生します。各イニシアチブでは、広告またはお勧め商品提示商法のコンテンツが表示されます。クリックによる閲覧は、顧客がトピックに関する詳細を知るために表示コンテンツをクリックするたびに発生します。クリックによる閲覧を記録するには、Page Designer で ClickInfo コマンドをその動的コンテンツに関連付ける必要があります。販売促進イベント・モニターは表示されるキャンペーン・イニシアチブと e-マーケティング・スポットを記録します。これは、ターゲットとする広告をよりよくしたり、ある特定の広告が表示されていることを確認したりする場合に役立ちます。
- 顧客による商品アドバイザーの使用。3つのショッピング・メタフォーごとに統計が保持され、効果の比較を示すことができます。

販売促進イベント・モニターは、サイトの利用中に生成されたキャンペーン・イベントの詳細ログのコンパイルも行います。キャンペーン・イベントが発生するたびに、要求されたページ、表示される e-Marketing スポット、およびコンテンツを生成する場合に使用されるイニシアチブによって、ログが更新されます。このログは WebSphere Commerce データベースの ">CPGNLOG テーブルに保存され、WebSphere Commerce Analyzer で処理されます。また、WebSphere Commerce Analyzer では収集したデータを基にレポートを生成します。

販売促進イベント・モニターはまた、顧客が属する顧客プロフィールとオーダーを結び付ける関係の追跡記録もとることができます。顧客がオーダーを発行するたびに、orders_id と mbrgrp_id を使ってログが更新されます。このログは、WebSphere Commerce データベース内の ">ORDERMGP テーブルに取り込まれます。

販売促進イベント統計カウンター

販売促進イベントの統計は、データベースのカウンターで作表されます。これらのカウンターは実動マシンの WebSphere Commerce データベースにありますが、ステージング・サーバーにコピーすることもできます。

キャンペーンおよび商品アドバイザー統計は常に実動マシンで収集されますが、統計の表示に使用されるデータベースの場所は構成できます。WebSphere Commerce アクセラレーターが、インターネットまたはイントラネットからアクセスできないステージング・サーバーにある場合にこの統計を見たければ、実動サーバーからステージング・サーバーに統計をコピーする必要があります。この場合、構成マネージャーを使用してステージング・サーバーを統計用の表示ソースとして構成する必要があります。

カウンターには異なる 5 つのものがあり、構成マネージャーのコンポーネントの使用可能、使用不可を切り替えることによって、それぞれのカウンターを別々にオンにしたり、オフにしたりすることができます。以下のカウンターが使用可能です。

AccessLoggingListener

アクセス制御またはセキュリティ違反を捕らえます。このような違反には、正しくないログイン ID、パスワードの使用、あるいは制限されているリソースにアクセスしようとするなどが含まれます。

ProductAdvisorInvocationListener

ストア内のすべての商品アドバイザー・メタフォーによって作成された統計を取り込みます。

ProductComparisonInvocationListener

ストア内のすべての商品比較メタフォーによって作成された統計を取り込みます。

ProductExplorerInvocationListener

ストア内のすべての商品探索メタフォーによって作成された統計を取り込みます。

SalesAssistantInvocationListener

ストア内のすべてのセールス・アシスタンス・メタフォーによって作成された統計を取り込みます。

CampaignRecommendationListener

ストア内のすべての販売促進キャンペーンによって作成された統計を取り込みます。

WebSphere Commerce アクセラレーターのユーザーがイニシアチブの「統計」ボタンをクリックすると、該当するデータベース・ソースに基盤のフレームワークから接続が行われ、最新の統計情報が表示されます。 リモート・マシンの統計を表示する場合は、そのリモート・マシンにログインする必要があります。

マーケティング・イベントの統計カウンター構成

マーケティング・イベントの統計カウンターを構成するには、以下のようになります。

1. 構成マネージャーをオープンする。
2. ユーザーのマシン名をもつノードを拡張表示し、「インスタンス・リスト」を拡張表示して、変更したいインスタンスを選択する。
3. ツリーの「コンポーネント」セクションを拡張表示する。
4. サイトの使用中に取り込みたい統計を選択する。以下のコンポーネントを使用可能にすることができます。
 - **CampaignRecommendationListener**
 - **CampaignRecommendationStatisticsListener**
 - **OrdersMgpPersistListener**
 - **ProductAdvisorInvocationListener**
 - **ProductComparisonInvocationListener**
 - **ProductExplorerInvocationListener**
 - **SalesAssistantInvocationListener**
5. 「**UserTrafficEventListener**」コンポーネントを選択する。
6. コンポーネントを使用可能にする。

7. WebSphere Commerce サーバーを停止して、開始する。

統計カウンターの表示ソースの構成

統計データが表示される位置を構成するには、以下のようにします。


1. 構成マネージャーを立ち上げる。
2. ユーザーのマシン名をもつノードを拡張表示し、「インスタンス」を拡張表示して、変更したいインスタンスを選択する。
3. 「Commerce アクセラレーター」リストを選択し、キャンペーン統計の供給元としたいマシンのホスト名を「統計ソース」フィールドに入力する。デフォルトでは、これは WebSphere Commerce アクセラレーターが配置されているマシンです。実動サーバーのホスト名を入力するか、インターネットかユーザーのイントラネットのどちらを通じても実動サーバーにアクセスできない場合は、開発サーバーのホスト名を入力することができます。開発サーバーのホスト名を入力した場合には、統計を表示する前に、実動サーバーから指定した開発サーバーへ統計をエクスポートする必要があります。さらに、統計の供給元とするマシンが、初めにログインしたマシンとは異なる場合は、ホスト名にポート番号を追加する必要があります。

このホスト名は、キャンペーン・リストの「統計」をユーザーがクリックした時に使用されます。

WebSphere Commerce Analyzer レポート

WebSphere Commerce Analyzer は WebSphere Commerce に付属しているオプションのアプリケーションです。このアプリケーションをインストールすると、顧客のアクティビティの分析およびレポート作成を目的に設計された堅実なビジネス・インテリジェンス・ソリューションとして利用できます。

WebSphere Commerce アクセラレーターからアクセスできるこの Commerce Analyzer レポートは、マーケティング・キャンペーンの比較成功率、および顧客の個人情報分類データを示します。これらのレポートは、最近のキャンペーンを評価して次回のキャンペーンを変更するのに使えるフィードバックを提供します。また、レポートが要求されたときのコンテキストに沿って示されます。たとえば、**レポート** ボタンをクリックすると、定義済みのキャンペーンの一覧が示され、各キャンペーンに関連したレポートを一覧で見ることができます。使用可能なコンテキストには、以下のものがあります。

- store
-  **Business** アカウントおよび契約
- キャンペーン
- キャンペーン・イニシアチブ
- e-マーケティング・スポット

WebSphere Commerce Analyzer は定期的の実動データベースからデータを自動的に抽出します。その後ここではログと大量のデータベース・レコードを処理して、顧客の通信量とサイトの使用量に基づいたレポートをコンパイルします。データ抽出スケジュールは、すべて構成可能です。通常のスケジュールは、実行時ごとに抽出

されるデータ量を最小化するため、1日単位でデータ抽出処理を実行するようになっていました。一般に WebSphere Commerce Analyzer は、実動マシンでのパフォーマンスへの影響を減らすために、リモート専用マシンにあります。

WebSphere Commerce Analyzer に関して詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer User's Guide* を参照してください。

WebSphere Commerce Analyzer レポートの使用可能化

WebSphere Commerce Analyzer レポートを使用可能にするには、以下のようにします。

1. WebSphere Commerce Analyzer をインストールして構成する。詳しくは、*WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide* を参照してください。
2. 構成マネージャーを立ち上げる。
3. ユーザーのマシン名をもつノードを拡張表示し、「インスタンス」を拡張表示して、変更したいインスタンスを選択する。
4. **Commerce アクセラレーター**・リストを選択する。
5. チェック・ボックスを選択して、WebSphere Commerce Analyzer がインストールされたことを指示する。
6. 「レポートの文書ルート」へのパスを入力するか、デフォルトを受け入れる。デフォルトでは、このパスは以下のとおりです。

 WIN

drive:¥WebSphere¥CommerceServer¥instances¥instance_name¥report_document_root

 AIX

/usr/WebSphere/CommerceServer/instances/instance_name/report_document_root

 SOLARIS  LINUX

/opt/WebSphere/CommerceServer/instances/instance_name/report_document_root

 400

/QIBM/UserData/WebCommerce/instances/instance_name/report_document_root

7. 「コンポーネント」ノードを拡張表示する。
8. UserTrafficEventListener および CampaignRecommendationListener コンポーネントを使用可能にする。
9. WebSphere Commerce サーバーを停止して、開始する。

WebSphere Commerce Analyzer レポートの表示

WebSphere Commerce Analyzer レポートを表示するには、以下のようにします。

注: レポートを表示する前に、ビジネス・インテリジェンス・コンポーネントを使用可能にし、データベースをすくなくとも 1 度処理しておく必要があります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. 「ストア」・メニューから、「ビジネス・インテリジェンス・レポート」をクリックする。
3. 使用可能な WebSphere Commerce Analyzer レポートのリストが表示されます。

4. 表示したいレポートを選択する。

オプションで、アカウント・リスト、契約リスト、e-マーケティング・スポット・リスト、キャンペーン・リスト、またはキャンペーン・イニシアチブ・リストから、「レポート」ボタンをクリックすることもできます。この方法を用いる場合は、現行テキストに適合するレポートだけが表示されます。

注: WebSphere Commerce Analyzer レポートが利用可能となるのは、WebSphere Commerce Analyzer をインストールし構成した後です。詳しくは、以下の文書を参照してください。

- *WebSphere Commerce Analyzer Installation and Configuration Guide*
- *WebSphere Commerce インストール・ガイド*

アカウント管理レポートと契約管理レポート (Business Edition)

Business アカウントおよび契約を効率よく管理するのに役立つ、以下の 6 つのレポートが使用可能です。

以下のレポートが使用可能です。

- アカウント別のオーダー・レポート - 選択されたアカウントのオーダーを確認します。
- アカウントの限定購入オーダーの残高 / 限度額レポート - 選択されたアカウントの購入オーダーの現在の残高、および限度額を確認します。
- アカウント別のリファンド・レポート - 選択されたアカウントに送出されたリファンドを確認します。
- 有効期限日付間近の契約レポート - 間もなく有効期限切れになる選択されたアカウントの契約を確認します。
- 契約別のオーダー・レポート - 選択された契約のオーダーを確認します。
- 契約別のリファンド・レポート - 選択された契約に送出されたリファンドを検査します。

アカウント管理レポートと契約管理レポートの表示 (Business Edition)

Business アカウント管理レポートと契約管理レポートを表示するには、以下のようになります。

1. WebSphere Commerce アクセラレーターをオープンする。ユーザー役割によって、1 つ以上のメニューが表示されます。
2. **セールス**・メニューから、**アカウント**をクリックする。ストアに定義されているアカウントを含むアカウント・リストが表示されます。
3. アカウントの左側にあるチェック・ボックスを選択する。
4. **レポート**をクリックする。「アカウント管理レポート」リストが表示されます。調べるレポートの表題をクリックします。
5. 選択したレポートが表示されます。

付録. Learning Guides

マーケティング・マネージャーの学習ガイド

学習目標:

WebSphere Commerce アクセラレーターを使用して以下のタスクを実行する方法を学習します。

- 顧客プロフィールの作成と保守
- キャンペーン of 作成と保守
- キャンペーン・イニシアチブの作成と保守
- e-マーケティング・スポットの作成
- 広告コピーの作成
- ビジネス・インテリジェンス・レポートの実行
- オーダー管理レポートの実行

スキルの前提条件:

マーケティング・マネージャーが、営業戦略および Web ブラウザーの使用方法について熟知していること。

始めに:

ナビゲーション・フレームで役割->Marketing management (マーケティング管理)->マーケティング・マネージャーをクリックする。

適用できるオンライン・ヘルプ・トピックのリストが表示されます。

また、*IBM WebSphere Commerce 基本* を読むこともできます。

特記事項

本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM によって明示的に指定されたものを除き、他社の製品と組み合わせた場合の動作の評価と検証はお客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権（特許出願中のものを含む。）を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権の許諾については、下記の宛先に書面にてご照会ください。

〒106-0032 東京都港区六本木 3 丁目 2-31
IBM World Trade Asia Corporation
Intellectual Property Law & Licensing

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム（本プログラムを含む）との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

Lab Director
IBM Canada Ltd. Laboratory
8200 Warden Avenue
Markham, Ontario
L6G 1C7
Canada

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

この文書には、他社のインターネット・サイトへの参照を含む、他社製品の情報が含まれている場合があります。IBM は、そのような情報の正確性、完全性、または使用については何ら責任を負いません。

この製品は、SET プロトコルに基づいています。

米国政府機関ユーザーの権利の制限 - IBM Corporation との間の GSA ADP Schedule Contract により、使用、複製、および開示が制限されます。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

AIX	CICS	DB2
DB2 Extenders	Encina	HotMedia
IBM	iSeries	MQSeries
SecureWay	VisualAge	WebSphere
400		

Blaze Advisor は HNC Software, Inc. の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Lotus および Domino は、Lotus Development Corporation の商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Oracle は Oracle Corporation の登録商標です。

SET および SET ロゴは、SET Secure Electronic Transaction LLC の商標です。詳しくは、<http://www.setco.org/aboutmark.html> を参照してください。

UNIX は、The Open Group がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名などはそれぞれ各社の商標または登録商標です。

